第25回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

The Japan Society for Respiratory Care and Rehabilitation 1991

ランチョンセミナー10

日 時 平成27年10月16日(金) 12:10～13:00

会 場 E会場 東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート1F「ガーネット」

〒279-0031 千葉県浦安市 舞浜 1-7 東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート1F

『VAPSはTailor-madeになりうるか?』

座 長

津田　徹 先生

医療法人社団恵友会 霧ケ丘つだ病院 理事長・院長

演題1

VAPSのトリセツ
～A short review of VAPS～

演 者

門脇　徹 先生

独立行政法人国立病院機構 松江医療センター 呼吸器内科医長・教育研修部長

演題2

EPAPの設定に興味を持とう

演 者

井本 久紀 先生

医療法人社団恵友会 霧ヶ丘つだ病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師

参加方法 本セミナーは整理券制です

定 員 300席

共 催 第25回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会／フィリップス・レスピロニクス合同会社

VAPSのトリセツ～A short review of VAPS～

門脇　徹　（独立行政法人国立病院機構 松江医療センター 呼吸器内科医長・教育研修部長）

NPPVで使用可能な固定圧モードとしてはS, S/T, T, PCモードがあり,中でも自発呼吸ベースでバックアップ呼吸の設定が可能なS/Tモードが汎用されている.近年これらに加えて目標換気量を維持するように自動調節するVAPS(Volume assured press ure support)モードが相次いで開発され,モード選択の幅が広がってきた.2000年にはAVAPS (Average volume assured pressure support),続いて2008年にTgV (Targ et volume),2012年にiVAPS (intelligent volume assured pressure support),2013年にはAVAPSにauto-EPAP(AE)機能を付加したAVAPS-AEモードが使用可能となっている.現時点ではVAPSモードの有用性についてはエビデンスが不十分ではあるが,経験症例数が増してきており,有効な症例や使用上注意すべき点なども少しずつ明らかになってきている.固定圧モードのみではなく各種VAPSモードについてもその特長を理解し,状況に応じてその使い分けができることが求められる時代となってきている.本講演では各種VAPSモードの特長・相違点や臨床研究の結果などを示しながら現時点でのNPPVのVAPSモードの「トリセツ(取扱説明書)」としたい.

【略歴】
平成11年3月　島根医科大学医学部医学科　卒業
平成19年1月　愛媛大学大学院卒業
平成19年2月～　愛媛大学医学部附属病院医員
平成20年4月～　国立病院機構松江病院（現：松江医療センター）呼吸器科医師
平成23年7月～8月　Veterans Affairs West Los Angeles Medical Center (Los Angeles, CA, USA）に短期留学
平成23年11月～　教育研修部長
平成24年1月～　呼吸器科医長

専門医等：日本呼吸器学会認定専門医・指導医
（中国・四国支部会代議員）
日本内科学会認定内科医・総合専門医
日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医

EPAPの設定に興味を持とう

井本　久紀、井上　真実、中山　初美、津田　徹　（医療法人社団恵友会 霧ヶ丘つだ病院）

従来は、夜間肺胞低換気やそれに伴うDesaturationに対抗しうる(または許容しうる)IPAPを設定することが多かった。しかし同時に、患者は睡眠状態に入るまでの間は高いIPAPに不快を感じることも多かった。そこに目標換気量をターゲットにIPAPを自動調節するVAPS(Volume assured pressure support)モードが登場し、患者の快適性は向上してきた。一方EPAPは、COPD患者の場合auto-PEEPに抗するcounter-PEEPを意識しながら設定していく。ところが、聴診によるEPAP Titrationを行っているとこのauto-PEEPが変化することに気づく。
2013年にAVAPSにauto-EPAP(AE)機能を追加したAVAPS-AEモードが加わった。適応はOSAであるが、このauto-EPAPは5Hzのオシレーションによって気道の閉塞を評価しEPAPを変化させる。オシレーションといえば、呼吸抵抗測定装置は20Hzと5Hzの2種のオシレーションを用いており、周波数5Hzでの値(R5)は末梢気道の抵抗を反映する。AVAPS-AEのオシレーションは末梢気道抵抗の変化に応用出来ないか。当院での2つの症例を紹介したい。

【略歴】
平成13年3月　中津ファビオラ看護学校　看護学科卒業　（大分県）
平成13年4月　医療法人玄真堂　川嶌整形外科病院　入職
平成18年6月　医療法人 社団 恵友会　霧ヶ丘つだ病院　入職
平成23年6月　福井大学大学院医学系研究科附属看護キャリアアップセンター 認定看護師教育課程「慢性呼吸器疾患看護」入学
平成24年6月　認定看護師「慢性呼吸器疾患看護」認定審査試験合格
平成25年12月　恵友会 訪問看護ステーションへ異動
訪問看護師として在宅療養のサポートを行いながら病棟のNPPV設定に関する相談を受けたり、微調整を実施。
また、月1度ですが「NPPV専門夜勤」を行い、夜間就寝中の状況を確認・調整しています。
平成26年6月～　霧ヶ丘つだ病院 外来看護課長として外来へ異動